

## ハクビシン

(学名: *Paguma larvata*)

[ ジャコウネコ科 ハクビシン属 ]



ハクビシンは、台湾から東南アジアに生息しており、日本では南東北から中部地方、四国を中心に分布していますが、年々分布を広げほぼ全国で確認されています。日本に生息するハクビシンは、人の手によって持ちこまれた移入種であるとする考え方もありますが、江戸時代の書物に雷獣としてハクビシンが描かれていることから本来日本に生息していたとする見方もあります。

ハクビシンは、体重が2~5kg、頭胴長が45~55cmとネコほどの大きさです。しかし、尾は太く、長さは35~45cmと胴と同じくらいあります。額から鼻にかけて伸びた太い白線が大きな特徴で「白鼻芯」と名付けられたということです。丸く大きな目と耳、細く伸びた鼻先、丸い胴に短い足、小さな丸い足先をしています。かわいい顔に似合わない、鋭く長い牙を備えています。夜行性で、木登りが得意であり、電線の上を上手に歩くことができます。果実を好みますが、雑食性で鳥や哺乳類、昆虫類、甲殻類なども食べます。畑のトウモロコシやブドウなどの果実を食べること、天井裏に住み着く習性があることから問題になることもあります。

只見町では、1965年代から目撃記録がありますが、当時は目撃例が少なく、この20年間で急に増えてきたと考えられています。現在では、町内全域で確認されており、寺社などに住み着いている例も確認されています。山地にも生息しますが、人里を好む人の身近に暮らす野生動物です。

〈企画展示〉

「ユネスコエコパークが描く只見の未来」

期 間 7月26日(土)~10月13日(月)まで

ブナセンター講座

「南アルプスユネスコエコパークの概要と将来への展望」

9月27日(土)午後1時30分~午後3時

講 師 増澤武弘氏(静岡大学理学部特任教授)

自然観察会

「沼の平のブナ林を歩く」要予約

9月28日(日)午前9時~午後3時(集合 午前9時ブナセンター)

予約・問い合わせ先: 只見町ブナセンター 電話0241-72-8355

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

## 市町村対抗野球 只見の初戦は9月14日!!

第8回市町村対抗野球に今年も只見町チームが出場します。

今年のチームは「一戦必勝でベスト8を目指す」という目標を掲げ、町内の野球チームなどから選りすぐった21名で大会に臨みます。

只見町の初戦は国見町と9月14日(日)福島市のあづま球場で午後1時から試合が開始される予定ですので、皆さん応援をよろしくお願いします。



▲市町村対抗野球での活躍を誓う選手の皆さん